

工 事 成 績 採 点 の 考 査 項 目

(監督員)

[記入方法]記入表の評価対象項目(○)と該当項目(□)にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

考查項目	細 別	a	b	c	d	e
1 施工体制	I 施工体制一般	1. ◎ □ 作業分担の範囲が、施工体制台帳及び施工体系図で確認できた。 2. ○ □ 工事カルテの登録手続きは、事前に監督職員の確認を受け契約締結後10日以内に登録機関に登録された。 3. ○ □ 建退共制度の主旨を作業員等に理解させていた。 4. ○ □ 建退共制度の証紙購入が適正に行われ、その配布が共済証紙受払簿等により管理されていた。 5. ◎ □ 工事現場の施工体制が、施工体制台帳又は施工体制表と整合していた。 6. ◎ □ 施工体系図が工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲げられていた。 7. ○ □ 社内検査体制が確立され、有効に機能していた。 8. ◎ □ 工事の規模、状況に応じた人員及び機械配置が行われ、施工に支障をきたさなかった。 9. ◎ □ 当該現場の作業員、下請負人の施工能力は適切であった。 10. ◎ □ ①建設業の許可標識及び②労災保険関係成立票の標識が公衆の見やすい場所に掲示されていた。 11. ◎ □ 「施工プロセス」チェックリストで指摘事項がなかった又は次回の点検までに指摘事項に対する改善が速やかに実施された。 12. ○ □ その他 (理由 :) ※ 上記項目中 評価対象項目の80%以上に該当する場合 b 評価対象項目の60%以上80%未満に該当する場合 c 評価対象項目の60%未満に該当する場合 d 1) 「評価対象項目」とは、工事の規模・内容等により評価の対象とならない項目(対象外項目)を削除した後の項目をいい、「該当項目」とは、評価対象項目のうち、当該工事で該当する項目をいう。 2) 当該工事の「評価対象項目」として該当する場合は、○にレマークを記入する。 3) 当該工事の「評価対象項目」に対して、概ね該当すると判定した場合は、「該当項目(□)」にレマークを記入する。 4) 「概ね該当する」とは、評価対象項目の遂行が優れていた又は特に問題がなかった場合をいう。 5) 評価対象項目が2項目以下の場合は、C評価とする。				13. □ 施工体制が不備であり、監督職員から文書による改善指示を行った。 上記該当項目があれば・e

工 事 成 績 採 点 の 考 査 項 目

(監督員)

[記入方法]記入表の評価対象項目(○)と該当項目(□)にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

考査項目	細 別	a	b	c	d	e		
1 施工体制	II 配置技術者等	1. ◎ □ 現場代理人は、工事現場に常駐して工事全体の把握ができていた。 2. ◎ □ 現場代理人が監督職員に行う連絡及び報告等については、書面で行い、その内容と時期が適切であった。 3. ◎ □ 現場代理人は、工事現場の運営及び取締りを行う上で、必要な知識と経験を有する者であった。 4. ◎ □ 現場代理人及び監理技術者、監理技術者補佐又は主任技術者（以下「現場代理人等」という。）は、書類整理及び資料の整理を適切に行っていた。 5. ○ □ 現場代理人等は、創意工夫又は提案をもって工事の進捗に努めていた。 6. ◎ □ 現場代理人等は、契約書、設計図書、関係基準書等をよく理解し、現場に反映して工事を施工していた。 7. ○ □ 現場代理人等は、設計図書の照査を十分に行い、現場と設計図書に相違があった場合は、適切に対応した。 8. ○ □ 現場代理人等は、作業環境・気象・地質等の困難な現場条件の克服に努めていた。 9. ◎ □ 現場代理人等は、下請業者、現場作業員の施工体制、施工状況を把握し、適切に指導していた。 10. ◎ □ 監理技術者、監理技術者補佐又は主任技術者として技術的判断に優れ良好な施工に努めていた。 11. ○ □ 作業主任者及び専門技術者を選任し、適正に配置していた。 12. ◎ □ 「施工プロセス」チェックリストで指摘事項がなかった又は次回の点検までに指摘事項に対する改善が速やかに実施された。 13. ○ □ その他（理由：			14. □ 現場代理人等の配置が不備で、監督職員から文書による改善指示を行った。 15. □ 専門技術者又は下請の主任技術者の配置が不備で、監督職員から文書による改善指示を行った。 上記項目のうち 1項目該当・・・・・・・・・・d 2項目該当・・・・・・・・・・e			
		※ 上記項目中 評価対象項目の90%以上に該当する場合・・・・・・・・・・a 評価対象項目の80%以上90%未満に該当する場合・・・・・・・・・・b 評価対照項目の60%以上80%未満に該当する場合・・・・・・・・・・c 評価対象項目の60%未満に該当する場合・・・・・・・・・・d						
		1) 「評価対象項目」とは、工事の規模・内容等により評価の対象とならない項目（対象外項目）を削除した後の項目をいい、「該当項目」とは、評価対象項目のうち、当該工事で該当する項目をいう。 2) 当該工事の「評価対象項目」として該当する場合は、○にレマークを記入する。 3) 当該工事の「評価対象項目」に対して、概ね該当すると判定した場合は、「該当項目(□)」にレマークを記入する。 4) 「概ね該当する」とは、評価対象項目の遂行が優れていた又は特に問題がなかった場合をいう。 5) 評価対象項目が2項目以下の場合は、C評価とする。						

工 事 成 績 採 点 の 考 査 項 目

(監督員)

[記入方法] 記入表の評価対象項目 (○) と該当項目 (□) にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

審査項目	細 別	a	b	c	d	e
2 施工状況	I 施工管理	1. ◎ □ 契約書第18条第1項第1号から第5号に基づく設計図書の照査を行い、監督職員の確認を受けてから施工した。 2. ◎ □ 施工計画書に記載した施工方法と現場施工方法が一致していた。 3. ◎ □ 施工計画書は、設計図書の内容及び現場条件を反映したものであった。 4. ◎ □ 施工計画書の内容には、記載洩れがなかった。 5. ○ □ 施工計画書の記載内容に変更の必要が生じた場合は、監督職員への報告及び変更施工計画書の提出等必要な措置を速やかに講じた。 6. ◎ □ 日常の出来形管理が的確に行われていた。 7. ◎ □ 日常の品質管理が的確に行われていた。 8. ◎ □ 現場内の整理整頓が、日常的に行われていた。 9. ◎ □ 使用材料の品質保証書等が適切に整理されていた。 10. ◎ □ 工事記録写真が適切に整理されていた。 11. ○ □ 現場でのイメージアップ（現場内及び周辺的美装化等）に積極的に取り組んでいた。 12. ◎ □ 立会いの手続きが事前になされていた。 13. ◎ □ 工事記録の整備が、適時・的確になされていた。 14. ○ □ 建設副産物等のリサイクルへの取り組みが適切になされていた。 15. ○ □ 設計図書で指定された使用機械や車両（低騒音機械、排出ガス対策機械等）を使用していた。 16. ◎ □ 施工計画書が提出期限内（該当工種の工事着手前）に提出された。 17. ○ □ 段階確認の申請は、適切な時期に行われていた。 18. ◎ □ 「施工プロセス」チェックリストで指摘事項がなかった又は次回の点検までに指摘事項に対する改善が速やかに実施された。 19. ○ □ その他（理由： _____)			20. □ 設計図書と適合しない個所があり、文書による改造請求を行った。 21. □ 施工計画書が、工事着手前に提出されなかった。 22. □ 定められた工事材料の検査義務を怠り、破壊検査を行った。 23. □ 契約図書に基づく施工上の義務につき、監督職員から文書による改善指示を行った。	1 項目該当・・・・・・・・・・ d 2 項目以上該当・・・・・・・・・・ e
		※ 上記項目中 評価対象項目の80%以上に該当する場合・・・・・・・・・・ b 評価対象項目の60%以上80%未満に該当する場合・・・・・・・・・・ c 評価対象項目の60%未満に該当する場合・・・・・・・・・・ d				
		1) 「評価対象項目」とは、工事の規模・内容等により評価の対象とならない項目（対象外項目）を削除した後の項目をいい、「該当項目」とは、評価対象項目のうち、当該工事で該当する項目をいう。 2) 当該工事の「評価対象項目」として該当する場合は、○にレマークを記入する。 3) 当該工事の「評価対象項目」に対して、概ね該当すると判定した場合は、「該当項目(□)」にレマークを記入する。 4) 「概ね該当する」とは、評価対象項目の遂行が優れていた又は特に問題がなかった場合をいう。 5) 評価対象項目が2項目以下の場合は、C評価とする。				

工 事 成 績 採 点 の 考 査 項 目

(監督員)

[記入方法] 記入表の評価対象項目 (○) と該当項目 (□) にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

考查項目	細 別	a	b	c	d	e
2 施工状況	II 工程管理	<p>1. ◎ □ フォローアップ等を実施し、工程の管理を行っていた。</p> <p>2. ○ □ 時間制限や片側交互通行等の各種制約があるにもかかわらず、工程の短縮を行った。</p> <p>3. ◎ □ 定められた作業時間以外の作業が少なく、工期内に完成させた。</p> <p>4. ○ □ 現場の条件変更への対応が積極的で処理が早かった。</p> <p>5. ○ □ 地元調整を積極的に行い円滑な工事進捗を行った。</p> <p>6. ◎ □ 休日の確保を行っていた。週休2日工事の場合、4週8休を達成した。</p> <p>7. ○ □ 計画工程と実施工程に整合性がみられた。</p> <p>8. ◎ □ 計画工程表の工程は、適切な内容だった。</p> <p>9. ◎ □ 日々工程を把握・管理し、週間工程表を作成するなど計画工程内に納める努力をしていた。</p> <p>10. ○ □ 計画工程から外れた場合は、その理由を発注者に報告した。</p> <p>11. ◎ □ 「施工プロセス」チェックリストで指摘事項がなかった又は次回の点検までに指摘事項に対する改善が速やかに実施された。</p> <p>12. ○ □ その他 (理由:)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※ 上記項目中 評価対象項目の90%以上に該当する場合 a</p> <p> 評価対象項目の80%以上90%未満に該当する場合 b</p> <p> 評価対照項目の60%以上80%未満に該当する場合 c</p> <p> 評価対象項目の60%未満に該当する場合 d</p> </div>			<p>13. □ 受注者の責により、工期内に工事を完成させなかった。</p> <p>(ただし、改善指示による場合を除く。)</p> <p>上記該当があれば e</p> <p>14. □ 自主的な工程管理がなされず、監督職員から文書による改善指示を行った。</p> <p>上記該当があれば d</p>	
		<p>1) 「評価対象項目」とは、工事の規模・内容等により評価の対象とならない項目(対象外項目)を削除した後の項目をいい、「該当項目」とは、評価対象項目のうち、当該工事で該当する項目をいう。</p> <p>2) 当該工事の「評価対象項目」として該当する場合は、○にレマークを記入する。</p> <p>3) 当該工事の「評価対象項目」に対して、概ね該当すると判定した場合は、「該当項目(□)」にレマークを記入する。</p> <p>4) 「概ね該当する」とは、評価対象項目の遂行が優れていた又は特に問題がなかった場合をいう。</p> <p>5) 評価対象項目が2項目以下の場合は、C評価とする。</p>				

工 事 成 績 採 点 の 考 査 項 目

(監督員)

[記入方法] 記入表の評価対象項目 (○) と該当項目 (□) にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

考查項目	細 別	a	b	c	d	e
2 施工状況	IV 対外関係	1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 工事施工にあたり、関係官公庁等の機関と調整を行ったため、トラブルの発生がなかった。 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 工事着手前に、地元住民と適切な調整を行っていた。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 第三者からの苦情に対しては、的確に対応し、苦情によるトラブルが少なかった。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 工事施工中は、積極的な地元対策を実施し、対外関係は良好だった。 5. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、関連工事を含む工事全体の円滑な進捗に寄与した。 6. ◎ <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックリストで指摘事項がなかった又は次回の点検までに指摘事項に対する改善が速やかに実施された。 7. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由:)			8. <input type="checkbox"/> 対外関係との調整に関して、発注者の指示に従わなかったため、関連工事を含む工事全体の進捗に支障が生じた。 上記該当があれば・・・・・・ e 9. <input type="checkbox"/> 受注者の対応による苦情が多い。又は対応が悪く、トラブルがあった。 10. <input type="checkbox"/> 関係法令に違反する恐れがあったため、監督職員から文書による改善指示を行った。 上記該当があれば・・・・・・ d	
		※ 上記項目中 評価対象項目の90%以上に該当する場合 a 評価対象項目の80%以上90%未満に該当する場合 b 評価対照項目の60%以上80%未満に該当する場合 c 評価対象項目の60%未満に該当する場合 d				
		1) 「評価対象項目」とは、工事の規模・内容等により評価の対象とならない項目(対象外項目)を削除した後の項目をいい、「該当項目」とは、評価対象項目のうち、当該工事で該当する項目をいう。 2) 当該工事の「評価対象項目」として該当する場合は、○にレマークを記入する。 3) 当該工事の「評価対象項目」に対して、概ね該当すると判定した場合は、「該当項目(□)」にレマークを記入する。 4) 「概ね該当する」とは、評価対象項目の遂行が優れていた又は特に問題がなかった場合をいう。 5) 評価対象項目が2項目以下の場合は、C評価とする。				

工 事 成 績 採 点 の 考 査 項 目

(監督員)

[記入方法] 記入表の評価対象項目 (○) と該当項目 (□) にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

考査項目	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	1. ◎ □ 各工種の出来形測定にあたり、出来形管理基準に定める測定基準を満足していた。		10. □	11. □ 監督職員から文書による改善指示があった場合	□ 契約書第17条第2項に基づく破壊検査を行った。
I. 出来形	2. ◎ □ 各工種の出来形が、出来形管理基準に定める測定項目の規格値を満足していた。				
	3. ○ □ 指示した施工段階では、社内計測値を成果表等に記入し、段階確認書に添付し確認を受けていた。			上記項目に該当があれば・・・d	上記項目に該当があれば・・・e
	4. ◎ □ 出来形成果表が適切にまとめられ、測定箇所の断面図・寸法等を記載するなど工夫が認められた。				
	5. ○ □ 出来形図（測定箇所10点以上で必要）が適切に作成されていた。				
	6. ○ □ 出来形測定において、不可視部分の出来形が写真で的確に判断できた。				
	7. ◎ □ 出来形の写真は、設計図書に定める管理項目を満足していた。				
	8. ○ □ 出来高数量計算書が適正に作成されていた。				
	9. ○ □ その他（理由：		）		
※	上記項目中 評価対象項目の90%以上に該当する場合・・・・・・・・ a 評価対象項目の80%以上90%未満に該当する場合・・・・・・・・ b 評価対照項目の60%以上80%未満に該当する場合・・・・・・・・ c 評価対象項目の60%未満に該当する場合・・・・・・・・ d				
1)	「評価対象項目」とは、工事の規模・内容等により評価の対象とならない項目（対象外項目）を削除した後の項目をいい、「該当項目」とは、評価対象項目のうち、当該工事で該当する項目をいう。				
2)	当該工事の「評価対象項目」として該当する場合は、○にレマークを記入する。				
3)	当該工事の「評価対象項目」に対して、概ね該当すると判定した場合は、「該当項目(□)」にレマークを記入する。				
4)	「概ね該当する」とは、評価対象項目の遂行が優れていた又は特に問題がなかった場合をいう。				
5)	評価対象項目が2項目以下の場合は、C評価とする。				
6)	主たる工事が取壊し工事で構造物等の施工がない場合は上記評価対象項目の内、1、2、4、7、8については下記評価項目に読み替えるものとする。				
1.	◎ □	自社の管理基準を設定して、適正に管理している。			
2.	◎ □	解体物の資材毎に処理方法が確認できる。			
4.	◎ □	解体物の資材毎に排出量、再資源化量、その他処分量が的確に確認できる。			
7.	◎ □	自社の写真管理基準等を設定し、創意工夫を持って適切に管理している。			
8.	○ □	マニフェストの整備が適時、的確になされている。			

工 事 成 績 採 点 の 考 査 項 目

(監督員)

[記入方法]記入表の評価対象項目(○)と該当項目(□)にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

考査項目	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ Ⅱ.品質 【共通】	<input type="checkbox"/> 1-1 土工 1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 床掘り仕上り面では、極力地山を乱さず、かつ、不陸が生じないように施工していた。 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 床掘箇所湧水及び滞水の処理が適切であった。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 埋戻(盛土)材料は、工事着手前に材料確認を受けた後、使用していた。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 埋戻(盛土)は、施工箇所の残材、木くず、廃物等を撤去した後、行っていた。 5. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 埋戻(盛土)は、締固め後の一層の仕上り厚を30cm以下(路床部では20cm以下)として、平坦に施工していた。 6. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 埋戻(盛土)は、設計図書に規定する品質管理試験が行われ、各試験項目の規格値及び試験基準を満足していた。 7. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 埋戻(盛土)の締固めは、適切な含水比で施工していた。 8. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)	<input type="checkbox"/> 1-2 土留工 1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 設計図書で品質・規格等を規定した場合は、規定以上の仮設材料品(土留、支保材等)を使用していた。 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 設計図書で設置数量等を規定した場合は、規定以上の設置を行っていた。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 土留材は、ぶれ、よじれ、倒れ等がなく、適切に設置されていた。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 土留は、土圧を均等に受けるように施工していた。 5. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 土留材と地山に空間が生じないように施工していた。 6. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)	<input type="checkbox"/> 1-3 標識・防護柵工 1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 使用材料の試験成績書・品質証明書が工事着手の前に提出され、設計図書に規定する品質規格を満足していた。 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 標識、支柱、防護柵等の設置は、設計図書に規定された施工方法で適切に行っていた。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 塗装、防錆処理は、設計図書に規定された方法により行っていた。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)	<input type="checkbox"/> 1-4 区画線工 1. <input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/> 使用材料の試験成績書・品質証明書が工事着手前に提出され、設計図書に規定する品質規格を満足していた。 2. <input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/> 施工前に設置路面の水分、泥、ほこり、砂塵を取り除いていた。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 熔融式、高視認性区画線の施工前に接着を強固にするためプライマーを路面に均等に塗布していた。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 熔融式、高視認性区画線の施工にあたり、常に180℃~220℃の温度で塗料を塗布できるように溶解槽を常に適温で管理していた。 5. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 塗布面へのガラスビーズの散布にあたり、ガラスビーズの片寄りがなく、反射に明暗が生じないように施工していた。 6. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)	

工 事 成 績 採 点 の 考 査 項 目

(監督員)

[記入方法]記入表の評価対象項目(○)と該当項目(□)にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

考查項目	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	1-5 基礎工				
II. 品質	□ 1-5-1 既製杭(既製コンクリート杭・鋼管杭・H鋼杭)打込み杭工法・中掘り杭工法				
【共通】	1.	○ □	杭の打止め管理方法が整備され、かつ、施工記録が確認できた。		
	2.	○ □	溶接作業にあたり、設計図書に定める作業員の技量確認を行っていた。		
	3.	○ □	既製杭の打込み又は建て込み、杭頭処理、杭の切断、継手、溶接は、設計図書で規定された施工方法で行っていた。		
	4.	○ □	杭の品質については、品質管理基準で規定する試験が行われ、各試験項目の規格値及び試験基準を満足していた。		
	5.	○ □	杭には、損傷等のないことが確認できた。		
	6.	○ □	その他(理由:)		
	□ 1-5-2 場所打杭(オールケーシング工法・リバース工法・アースドリル工法)				
	1.	○ □	杭長決定の管理方法が整備され、かつ、施工記録が確認できた。		
	2.	○ □	施工に使用する掘削機械は、その水平度や安全度の確保のため据付地盤が整備され、設計図書に規定する杭の位置に据付けられていた。		
	3.	○ □	コンクリート打設前に孔底沈殿物(スライム)を除去していた。		
	4.	○ □	鉄筋かごの建て込みは、湾曲、脱落座屈の防止措置がとられ、かぶりを確保するためスペーサーが適正に取付けられていた。		
	5.	○ □	杭のコンクリートの打込みは、設計図書に規定した方法で行っていた。		
	6.	○ □	その他(理由:)		
	□ 1-6 コンクリートブロック積(張)工				
	1.	◎ □	工事着手前に使用材料の品質証明書等を提出し、材料確認を受けてから施工していた。		
	2.	◎ □	ブロック積(張)は、設計図書の規定どおり施工していた。		
	3.	◎ □	コンクリートブロックは、凹凸なく積(張)込まれていた。		
	4.	◎ □	コンクリートブロックには、損傷等がなかった。		
	5.	○ □	ブロック積みにおける水抜孔、伸縮目地は、設計図書の規定どおり施工していた。		
	6.	○ □	その他(理由:)		
	1-7 地中連続壁工				
	□ 1-7-1 壁式				
	1.	◎ □	使用材料・施工方法等は、施工前に確認を受けていた。		
	2.	◎ □	堅固な作業床が施工され、ガイドウォールが所定の位置に精度良く設置されていた。		
	3.	◎ □	掘削底面が平坦になるよう施工されていた。		
	4.	◎ □	鉄筋かごの建込みに際して、製作精度が確保されていた。		
	5.	◎ □	後行エレメントの鉄筋かごの建込み前に先行エレメントの連壁継手部に付着している泥土や充填碎石を取除き、エレメント間の止水性の向上を図っていた。		
	6.	◎ □	連壁コンクリートは、鉄筋かごの浮き上がりを防止するように打設されていた。		
	7.	○ □	その他(理由:)		

工 事 成 績 採 点 の 考 査 項 目

(監督員)

[記入方法]記入表の評価対象項目(○)と該当項目(□)にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

考查項目	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ Ⅱ.品質 【共通】	□ 1-7-2 柱式				
	1.	◎ □	使用材料、施工方法等は、施工前に確認を受けていた。		
	2.	◎ □	堅固な作業床が施工され、ガイドトレンチが所定の位置に精度良く設置されていた。		
	3.	◎ □	各杭の施工順序、間隔、柱列線及び削孔精度等に留意して、柱列杭の連続性が確保されていた。		
	4.	◎ □	芯材は、孔壁を損傷しないように孔心に対して垂直に建て込まれていた。		
	5.	○ □	その他(理由:)		
	□ 1-8 コンクリート工				
	1.	◎ □	施工前に設計図書(示方書を含む。以下同じ)の規定に基づくコンクリートの配合試験及び試験練が行われ、試験結果により適切なコンクリートの品質規格(強度・W/C・最大骨材粒径・塩化物総量規制・アル骨反応抑制対策等)であることが確認できた。		
	2.	◎ □	コンクリートの運搬・打込み(方法、時間)・締固め方法・養生等が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。(暑中及び寒中コンクリートを含む。)		
	3.	○ □	コンクリートに打継目(施工継目)を設ける場合は、設計図書に規定された方法で行っていた。		
	4.	○ □	コンクリートに伸縮継目を設ける場合は、設計図書に規定された方法で行っていた。		
	5.	◎ □	コンクリート打設時に必要な数の供試体を採取し、スランプ・空気量試験等を適正に行っていた。		
	6.	◎ □	設計図書に規定するコンクリートの品質管理試験が行われ、各試験項目の規格値及び試験基準を満足している品質であることが確認できた。		
	7.	◎ □	型枠、支保工の取り外しは、設計図書で規定するコンクリート強度発現後に行うように管理されていた。		
	8.	○ □	その他(理由:)		
	□ 1-9 鉄筋工				
	1.	○ □	現場での鉄筋の保管については、直接地上に置かず、少なくとも地上から10cm以上上げてシート等で覆って錆等から防護していた。		
	2.	○ □	鉄筋の規格がミルシート等で確認できた。		
	3.	◎ □	鉄筋は、引張強度・曲げ強度の試験値又は品質証明資料等により、品質規格を満足していることが確認できた。		
	4.	◎ □	鉄筋の加工は、設計図書で規定したとおり行っていた。		
	5.	◎ □	鉄筋組立は、鉄筋表面の浮きさび、泥、油、ペンキ等を除去した後に行っていた。		
	6.	◎ □	スペーサーを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保していた。		
	7.	◎ □	鉄筋の重ね継手の緊結方法、長さ、位置等は、設計図書で規定したとおり行っていた。		
	8.	◎ □	コンクリート打込みまでの間、鉄筋が適切に保管管理(配筋・浮き錆・泥等の除去)されていた。		
	9.	○ □	その他(理由:)		
	□ 1-10 ガス圧接工				
	1.	◎ □	ガス圧接作業にあたり、設計図書に定める作業員の技量確認を行っていた。		
	2.	◎ □	ガス圧接作業が設計図書どおり適切に行われていた。		
	3.	◎ □	品質管理基準で規定する施工前試験及び施工後検査が行われ、各試験項目の規格値及び試験基準を満足している品質であることが確認できた。		
	4.	○ □	その他(理由:)		

工 事 成 績 採 点 の 考 査 項 目

(監督員)

[記入方法]記入表の評価対象項目(○)と該当項目(□)にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

考査項目	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II. 品質 【共通】	<input type="checkbox"/> 1-11 塗装工 1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 塗装する面が、乾燥状態であった。(重ね塗りの場合も含む) 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> ケレンが入念に実施されていた。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 施工時の天候・気温及び湿度等の条件が整理・記録されていた。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 塗料を使用前に攪拌し、容器底部に顔料が沈殿しないようにしてから使用していた。 5. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 塗り残し、気泡、むらのないように全面を均一の厚さに塗り上げていた。 6. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 塗膜に有害な付着物がなかった。 7. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理が、写真等で確認できた。 8. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)				
	<input type="checkbox"/> 1-12 薬液注入工 1. <input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/> 工事着手前に使用材料の品質証明書・試験成績表等を提出し、材料確認を受けてから施工していた。 2. <input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/> 使用材料は、材料数量証明書が提出され、設計図書に規定する数量以上が使用されていた。 3. <input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/> 工事着手前に工法確認を受けてから施工していた。 4. <input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/> 設計図書で規定した範囲の改良について、予定どおりの改良効果が確認できた。 5. <input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/> 周辺の構造物や地盤に影響を与えていないことが確認できた。 6. <input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/> 周辺の河川及び井戸等について、影響を与えていないことが確認できた。 7. <input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/> 注入圧力の記録紙(チャート紙)は、発注者の検印のあるものを用い、切断せずに1ロール使用ごとに提出していた。 8. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)				
	<input type="checkbox"/> 1-13 プレキャストコンクリート工 1. <input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/> 工事着手前に使用材料の試験成績書・品質証明書等を提出し、材料確認を受けてから施工していた。 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 敷設等は、設計図書に規定する施工方法で行われていた。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)				
	<input type="checkbox"/> 1-14 取壊し工 1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書に定められた計画により管理されている 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 付着物の除去を積極的に行っている。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 解体資材の再資源化、又は、リユースや有価物化に積極的に取り組んでいる。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 中間処理施設等への搬出状況について、写真などで的確に確認できる。 5. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 埋設物の撤去状況及び記録が適切である。 6. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)				

工 事 成 績 採 点 の 考 査 項 目

(監督員)

[記入方法]記入表の評価対象項目(○)と該当項目(□)にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

考查項目	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II.品質 【下水道】	<input type="checkbox"/> 2-1 管渠工(開削) 1. ◎ <input type="checkbox"/> 使用材料は、品質証明書等を提出し、品質確認を受けた後、使用していた。 2. ○ <input type="checkbox"/> 塩ビ製材料は、直射日光を避けて、変形が起きないように管台を適正に配置して保管していた。 3. ◎ <input type="checkbox"/> 管の布設は、方向・勾配等が適切であり、不陸・偏心等がなかった。 4. ○ <input type="checkbox"/> 管の接合が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 5. ○ <input type="checkbox"/> その他(理由:)				
	<input type="checkbox"/> 2-2 マンホール設置工・樹設置工 1. ◎ <input type="checkbox"/> 使用材料は、品質証明書等を提出し、品質確認を受けた後使用していた。 2. ○ <input type="checkbox"/> マンホールブロックは、躯体コンクリートと内面が一致し垂直に据付けられていた。 3. ○ <input type="checkbox"/> 各マンホールブロックの接合部は、砂利・砂・ゴミ等を取除き水密に仕上げられていた。 4. ○ <input type="checkbox"/> マンホール天端は、道路又は敷地の表面勾配に合致するように仕上げられていた。 5. ○ <input type="checkbox"/> マンホールのモルタル使用箇所は、内外面から仕上げを行っていた。 6. ○ <input type="checkbox"/> マンホール底部のインバート仕上げは滑らかに、また、合流点の場合は滑らか、かつ、流下能力を阻害しない角度で仕上げられていた。 7. ○ <input type="checkbox"/> 樹の据付けは、垂直に、かつ、水密に仕上げられていた。 8. ◎ <input type="checkbox"/> マンホールと接続管は、漏水等のないように適切に接続されていた。 9. ○ <input type="checkbox"/> その他(理由:)				
	<input type="checkbox"/> 2-3 推進工{小口径(φ200~φ700 ^{mm})、セミシールド(φ800 ^{mm} 以上)}・本体 1. ◎ <input type="checkbox"/> 使用材料は、品質証明書等により設計図書で規定した品質・規格を満足していた。 2. ◎ <input type="checkbox"/> 使用材料は、品質確認を受けた後、使用していた。 3. ◎ <input type="checkbox"/> 管材料には、変形や表面に傷がなかった。 4. ◎ <input type="checkbox"/> 設計図書に規定する管渠勾配が、確保されていた。 5. ◎ <input type="checkbox"/> 設計図書に規定する管渠法線が、確保されていた。 6. ◎ <input type="checkbox"/> 推進法線上の地盤沈下について、沈下量の管理を行い、最小限の沈下にとどめていた。 7. ◎ <input type="checkbox"/> 推進推力について、管理を行い、予定以上の負荷をかけていないことが確認できた。 8. ○ <input type="checkbox"/> 管の目地には、予定以上の開きがなかった。 9. ○ <input type="checkbox"/> 推進工による地中への空隙発生の有無について、常に管理していた。 10. ○ <input type="checkbox"/> その他(理由:)				

工 事 成 績 採 点 の 考 査 項 目

(監督員)

[記入方法]記入表の評価対象項目(○)と該当項目(□)にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

考査項目	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II. 品質 【下水道】	2-4 シールド工・本体				
□ 2-4-1 一次覆工					
1. ◎ □ シールドマシンは、設計図書に規定する規格を満足し、使用にあたり事前に確認を受けていた。 2. ◎ □ セグメントは、品質証明書等により設計図書に規定する規格を満足する材料が使用され、施工にあたり事前に確認を受けていた。 3. ◎ □ シール材は、品質証明書等により設計図書で規定した品質・規格を満足する材料が使用されていた。 4. ◎ □ セグメントには、変形、溶接の欠損箇所がなく、シール材が適切に貼られ止水していた。 5. ◎ □ 設計図書に規定する管渠勾配が、確保されていた。 6. ◎ □ 設計図書に規定する管渠法線が、確保されていた。 7. ◎ □ シールド法線上の地盤沈下は、沈下量の管理を行い、最小限の沈下にとどめていた。 8. ◎ □ シールド推力について、管理を行い、予定以上の負荷をかけていなかった。 9. ◎ □ セグメントジョイントから漏水を起こしていなかった。 10. ○ □ シールド工による地中への空隙発生の有無について、常に管理していた。 11. ○ □ その他(理由:)					
□ 2-4-2 二次覆工					
1. ○ □ スチールフォーマーは、使用確認を受けてから使用していた。 2. ○ □ 二次覆工コンクリートは、設計図書に規定する規格を満足し、確認を受けてから使用していた。 3. ◎ □ 設計図書に規定する勾配が、確保されていた。 4. ◎ □ 設計図書に規定する法線が、確保されていた。 5. ◎ □ 設計図書に規定する壁厚が、確保されていた。 6. ○ □ 二次覆工コンクリートには、ひび割れ・欠損がなかった。 7. ○ □ セグメントへの二次覆工コンクリートの充填状況を常に管理していた。 8. ○ □ その他(理由:)					
□ 2-5 作泥注入工(小口径、セミシールド、シールド各工種共通)					
1. ◎ □ 作泥注入材料は、品質確認を受けた後、使用していた。 2. ◎ □ 作泥注入工法は、設計図書に規定する規格を満足し、事前に確認を受けていた。 3. ◎ □ 作泥注入が設計図書どおり確実に実施されていた。 4. ○ □ その他(理由:)					
□ 2-6 裏込注入(小口径、セミシールド、シールド各工種共通)					
1. ◎ □ 裏込注入材料は、品質確認を受けた後、使用していた。 2. ◎ □ 裏込注入工法は、設計図書に規定する規格を満足し、事前に確認を受けていた。 3. ◎ □ 裏込注入が設計図書どおり確実に実施されていた。 4. ○ □ その他(理由:)					

工 事 成 績 採 点 の 考 査 項 目

(監督員)

[記入方法]記入表の評価対象項目(○)と該当項目(□)にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

考查項目	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II. 品質 【下水道】	<input type="checkbox"/> 2-7 仮設工（小口径、セミシールド [*] 、シールド各工種共通）				
	1.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	設計図書で規定した品質・規格等以上の仮設材料品（土留、支保材等）を使用していた。		
	2.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	設計図書の規定どおり仮設の配置（立坑の大きさ、切梁の配置等）を行っていた。		
	3.	<input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/>	立坑周辺の地盤に沈下等の影響を与えていないことが確認できる。		
	4.	<input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/>	設計図書で仮設材の残置を規定した場合について、規定した数量以上や規定外の仮設材の残置を行っていないことが確認できる。		
	5.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	その他（理由： _____）		
	<input type="checkbox"/> 2-8 下水道工事その他の工種（ _____ ）				
	1.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	使用材料（部品・単体品）は、工事着手前に試験成績書・品質証明書等が提出され、設計図書で規定された品質・形状等の規格を満足していた。		
	2.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	設計図書で規定する方法で、適正に施工されていた。		
	3.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	設計図書で定められている品質管理が、適正に実施されていた。		
	4.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	その他（理由： _____）		
	5.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	その他（理由： _____）		
	6.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	その他（理由： _____）		
	<input type="checkbox"/> 2-9 下水道工事その他の工種（名称： _____ ）				
	1.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	その他（理由： _____）		
	2.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	その他（理由： _____）		
	3.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	その他（理由： _____）		
	4.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	その他（理由： _____）		
	5.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	その他（理由： _____）		
	6.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	その他（理由： _____）		
	7.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	その他（理由： _____）		
	8.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	その他（理由： _____）		

工 事 成 績 採 点 の 考 査 項 目

(監督員)

[記入方法]記入表の評価対象項目(○)と該当項目(□)にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

考査項目	a	b	c	d	e	
3 出来形及び出来ばえ Ⅱ.品質 【道路】	<input type="checkbox"/> 3-1 路床安定処理工					
	1.	<input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/>	工事着手前に使用材料の品質証明書等を提出し、材料確認を受けてから施工していた。			
	2.	<input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/>	安定剤の散布前に現地盤の不陸整正を行ってから施工していた。			
	3.	<input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/>	安定剤を均等に散布していた。			
	4.	<input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/>	安定剤と路床土を均一に混合し、混合深さを確認して施工していた。			
	5.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	安定剤の散布・混合にあたり粉塵対策を行っていた。			
	6.	<input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/>	混合終了後、地表面を粗均して整形し、締固めていた。			
	7.	<input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/>	品質については、品質管理基準で規定する試験が行われ、各試験項目の規格値及び試験基準を満足していた。			
	8.	<input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/>	設計図書で規定した範囲の改良について、予定どおりの改良効果が確認できた。			
	9.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	その他(理由:)
<input type="checkbox"/> 3-2 植栽工						
1.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	土壌硬度試験及び土壌試験(PH)を実施し、施工に反映していた。				
2.	<input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/>	土壌改良は、設計図書で規定した方法で行っていた。				
3.	<input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/>	活着管理が適切に行われていた。				
4.	<input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/>	樹木等に損傷、はち崩れ等がなく、保護・養生が適切に行われていた。				
5.	<input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/>	樹木等の生育に害のある瓦礫、不良土等の雑物は適切に除去されていた。				
6.	<input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/>	余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れが適切に行われていた。				
7.	<input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/>	肥料が、直接樹木の根に触れないように均一に施肥されていた。				
8.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	支柱は、設計図書で規定された寸法及び品質を満足し、適正に設置していた。				
9.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	樹幹と添木の取付部は、杉皮等を巻き棕櫚縄を用いて堅固に結束していた。				
10.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	その他(理由:)	
3-3 法面工						
<input type="checkbox"/> 3-3-1 植生工(種子吹付、客土吹付、厚層基材吹付)						
1.	<input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/>	施工基面が平滑に仕上げられていた。				
2.	<input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/>	土壌試験を実施し、施工に反映していた。				
3.	<input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/>	ネット等の重ね幅が、10cm以上確保されていた。				
4.	<input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/>	吹付け厚さが均等だった。				
5.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	吹付け厚さによって必要な場合は、2層以上に分けて施工していた。				
6.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	その他(理由:)	

工 事 成 績 採 点 の 考 査 項 目

(監督員)

[記入方法]記入表の評価対象項目(○)と該当項目(□)にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

考査項目	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II. 品質 【道路】	<p>□ 3-3-2 吹付工 (コンクリート吹付、モルタル吹付)</p> <p>1. ◎ □ 施工基面が平滑に仕上げられていた。</p> <p>2. ◎ □ 金網等の重ね幅が、10cm以上確保されていた。</p> <p>3. ◎ □ 吹付け厚さが均等だった。</p> <p>4. ◎ □ 供試体が、当該現場の供試体であることが確認できた。</p> <p>5. ◎ □ 跳ね返り材料が適切に処理されていた。</p> <p>6. ◎ □ 品質については、品質管理基準で規定する試験が行われ、各試験項目の規格値及び試験基準を満足していた。</p> <p>7. ○ □ その他 (理由:)</p>				
	<p>□ 3-3-3 法枠工 (現場打法枠、プレキャスト法枠、現場吹付法枠)</p> <p>1. ◎ □ 施工基面が平滑に仕上げられていた。</p> <p>2. ◎ □ アンカーが設計図書どおりに施工されていた。</p> <p>3. ◎ □ 現場養生が、設計図書に従い適切に実施されていた。</p> <p>4. ◎ □ 供試体が、当該現場の供試体であることが確認できた。</p> <p>5. ◎ □ 枠内には、空隙のないことが確認できた。</p> <p>6. ◎ □ 層間には、剥離のないことが確認できた。</p> <p>7. ◎ □ 跳ね返り材料が適切に処理されていた。</p> <p>8. ◎ □ 品質については、品質管理基準で規定する試験が行われ、各試験項目の規格値及び試験基準を満足していた。</p> <p>9. ○ □ その他 (理由:)</p>				
	<p>□ 3-4 街渠工</p> <p>1. ◎ □ 工事着手前に使用材料の試験成績書・品質証明書等を提出し、材料確認を受けてから施工していた。</p> <p>2. ◎ □ 接合部は、モルタル処理が適正に行われていた。</p> <p>3. ◎ □ 使用材料には、損傷等がなかった。</p> <p>4. ◎ □ 目地間隔が適正であった。</p> <p>5. ○ □ その他 (理由:)</p>				

工 事 成 績 採 点 の 考 査 項 目

(監督員)

[記入方法]記入表の評価対象項目(○)と該当項目(□)にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

考查項目	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II.品質 【道路】	<input type="checkbox"/> 3-5 舗装工(舗装補修工を含む。)	1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 下層及び上層の路盤材又は路盤補充材については、試験成績書が工事施工前に提出され、設計図書で規定した品質規格を満足していた。 2. <input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/> アスファルトに使用する骨材については、試験成績書が工事施工前に提出され、設計図書で規定した品質規格を満足していた。 3. <input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/> アスファルト、プライムコート、タックコートについては、品質証明書が工事施工前に提出され、設計図書で規定した品質規格を満足していた。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> (舗装工) 上層路盤及び下層路盤の1層仕上がり厚は、設計図書の規定以下で施工していた。 5. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> (舗装補修工) 設計図書の規定どおり、工事着手前に縦横断測量が行われ、その測量結果により作成された計画図面で舗装補修が行われていた。 6. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> (舗装補修工) アスファルト切削殻、現地発生材等の処理は、設計図書で規定したとおり適正に行われていた。 7. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> (舗装補修工) アスファルト舗設前の施工面が、設計図書に規定されたとおり清掃及び整正されていた。 8. <input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の運搬時には、温度低下を防ぐためにシート類で覆っていた。 9. <input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の温度管理が、プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されていた。 10. <input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/> 舗設前のアスファルト乳剤が、設計図書の規定どおり適正に散布されていた。 11. <input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の初期転圧前の数均しは、設計図書に定められた温度以上で行われた。 12. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 2層以上の舗装構成の場合、舗装の各層の継ぎ目が、設計図書に定められた数値(縦継目15cm、横継目1m)以上ずらして施工されていた。 13. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 路床工及び路体工の品質については、品質管理基準で規定する試験(土の締固め試験、CBR試験、現場密度試験、ブルーローリング試験等)が行なわれ、各試験項目の規格値及び試験基準を満足していた。 14. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 下層路盤工の品質については、品質管理基準で規定する試験が行なわれ、各試験項目の規格値及び試験基準を満足していた。 15. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 粒度調整・再生粒度調整路盤工の品質については、品質管理基準で規定する試験が行われ、各試験項目の規格値及び試験基準を満足していた。 16. <input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/> アスファルト舗装工の品質については、品質管理基準で規定する試験が行われ、各試験項目の規格値及び試験基準を満足していた。 17. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)			
	<input type="checkbox"/> 3-6 道路工事その他の工種()	1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 使用材料(部品・単体品)の品質は、工事着手前に試験成績書・品質証明書等が提出され、設計図書で規定された品質・形状等の規格を満足していた。 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 設計図書で規定する方法で、適正に施工されていた。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 設計図書で定められている品質管理が、適正に実施されていた。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)			
	<input type="checkbox"/> 3-7 道路工事その他の工種(名称:)	1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:) 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:) 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:) 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:) 5. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:) 6. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:) 7. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:) 8. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)			

工事成績採点の審査項目

(監督員)

[記入方法]記入表の評価対象項目(○)と該当項目(□)にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

審査項目	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II. 品質 【河川】	□ 4-1 護岸工・根固工・水制工 1. ◎ □ 工事着手前に使用材料の試験成績書・品質証明書等を提出し、材料確認を受けてから施工していた。 2. ○ □ 施工基面が平滑に仕上げられていた。 3. ○ □ 裏込材、胴込めコンクリートの充填又は締固めが充分で、空隙がなかった。 4. ○ □ 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等で材料のかみ合せ又は連結が適切に行われ、裏込材には吸い出しの恐れのないことが確認できた。 5. ○ □ 護岸工の端部や曲線部の処理・強度・水密性が適切であった。 6. ○ □ 遮水シートが、所定の幅で重ね合わせられ、端部が適切に処理されていた。 7. ○ □ 植生工で、植生の種類・品質・配合・施工後の養生が適切に行われていた。 8. ○ □ 根固工、水制工、沈床工、捨石工等で、材料の連結又はかみ合せが適切に行われていた。 9. ○ □ その他(理由:)				
	□ 4-2 浚渫工 1. ◎ □ 水位、潮位の観測を日頃から実施していた。 2. ◎ □ 河床の平坦性が保たれていた。 3. ○ □ 濁水位、平水位、最高水位、潮位及び流速、風浪等の水象・気象などの関係資料をあらかじめ調査していた。 4. ◎ □ 洪水時を想定した対策を講じていた。 5. ◎ □ 浚渫にあたり河水汚濁についての対策(汚濁防止フェンス等)を講じていた。 6. ◎ □ 浚渫にあたり付近への飛散防止対策を講じていた。 7. ○ □ その他(理由:)				
	□ 4-3 浚渫土処理工 1. ◎ □ 浚渫土砂運搬に際して付近道路への漏出対策を講じていた。 2. ◎ □ 浚渫土砂に混雑されている去雑物を適正に分別して処理していた。 3. ○ □ 浚渫土砂への添加剤の混入・混合にあたり粉塵対策を行っていた。 4. ○ □ 余剰水処理において、その水質が適正に管理されていた。 5. ○ □ その他(理由:)				
	□ 4-4 河川工事その他の工種() 1. ○ □ 使用材料(部品・単体品)の品質は、工事着手前に試験成績書・品質証明書等が提出され、設計図書で規定された品質・形状等の規格を満足していた。 2. ○ □ 設計図書で規定する方法で、適正に施工されていた。 3. ○ □ 設計図書で定められている品質管理が、適正に実施されていた。 4. ○ □ その他(理由:)				
	□ 4-5 河川工事その他の工種(名称:) 1. ○ □ その他(理由:) 2. ○ □ その他(理由:) 3. ○ □ その他(理由:) 4. ○ □ その他(理由:) 5. ○ □ その他(理由:) 6. ○ □ その他(理由:) 7. ○ □ その他(理由:) 8. ○ □ その他(理由:)				

工 事 成 績 採 点 の 考 査 項 目

(監督員)

[記入方法]記入表の評価対象項目(○)と該当項目(□)にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

考査項目	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II. 品質 【公園】	□ 5-1 園路広場工				
	1. ◎ □	□ 工事着手前に使用材料の試験成績書・品質証明書等を提出し、材料確認を受けてから施工していた。			
	2. ◎ □	□ 施工基面が平滑に仕上げられていた。			
	3. ○ □	□ 上層路盤、下層路盤の1層仕上がり厚は、設計図書の規定以下で施工していた。			
	4. ◎ □	□ 舗装材(ブロック)は、設計図書の規定どおり施工していた。)
	5. ○ □	□ 舗装材(ブロック)は、損傷等がなく、凹凸なしに張込まれていた。)
	6. ○ □	□ 植生工は、植生の種類・品質・配合が設計図書の規格を満足し、施工後の養生も適切に行われていた。)
	7. ◎ □	□ 仕上がり面は良好で、設計図書の規定どおり施工されていた。			
	8. ○ □	□ その他(理由:)
	□ 5-2 修景施設整備工				
	1. ◎ □	□ 工事着手前に使用材料の試験成績書・品質証明書等を提出し、材料確認を受けてから施工していた。			
	2. ◎ □	□ 施設は、設計図書で規定された寸法及び品質を満足し、適正に設置していた。			
	3. ◎ □	□ 施設の仕上がりが適切であり、目的の機能を有していた。			
	4. ○ □	□ その他(理由:)
	□ 5-3 遊戯施設整備工				
	1. ◎ □	□ 工事着手前に使用材料の試験成績書・品質証明書等を提出し、材料確認を受けてから施工していた。			
	2. ○ □	□ 製品納入前に使用材料承諾願いを提出し、設計図書に適合する製品であることの確認を受けてから施工していた。			
	3. ◎ □	□ 施設は、設計図書で規定された寸法及び品質を満足し、設計図書に従って適正に設置していた。			
	4. ◎ □	□ 基礎面が平坦に仕上げられて十分締固められていた。			
	5. ○ □	□ 製品の組立は設計図書どおりに行われ、がたつき・緩み等がなく堅固に仕上がっていた。			
	6. ◎ □	□ 施設の仕上がりが適切で、傷・損傷等がなかった。			
	7. ◎ □	□ 施設の機能は、設計図書の規定・目的を満足していた。			
	8. ○ □	□ その他(理由:)

工 事 成 績 採 点 の 考 査 項 目

(監督員)

[記入方法]記入表の評価対象項目(○)と該当項目(□)にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

考查項目	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II. 品質 【公園】	<input type="checkbox"/> 5-4 サービス施設整備工 1. ◎ <input type="checkbox"/> 工事着手前に使用材料の試験成績書・品質証明書等を提出し、材料確認を受けてから施工していた。 2. ○ <input type="checkbox"/> 製品納入前に使用材料承諾願いを提出し、設計図書に適合する製品であることの確認を受けてから施工していた。 3. ◎ <input type="checkbox"/> 施設は、設計図書で規定された寸法及び品質を満足し、設計図書に従って適正に設置していた。 4. ◎ <input type="checkbox"/> 基礎面が平坦に仕上げられて十分締固められていた。 5. ○ <input type="checkbox"/> 製品の組立は設計図書どおりに行われ、がたつき・緩み等がなく堅固に仕上がっていた。 6. ◎ <input type="checkbox"/> 施設の仕上がりが適切で、傷・損傷等がなかった。 7. ◎ <input type="checkbox"/> 施設の機能は、設計図書の規定・目的を満足していた。 8. ○ <input type="checkbox"/> その他(理由:)				
	<input type="checkbox"/> 5-5 管理施設整備工 1. ◎ <input type="checkbox"/> 工事着手前に使用材料の試験成績書・品質証明書等を提出し、材料確認を受けてから施工していた。 2. ○ <input type="checkbox"/> 製品納入前に使用材料承諾願いを提出し、設計図書に適合する製品であることの確認を受けてから施工していた。 3. ◎ <input type="checkbox"/> 施設は、設計図書で規定された寸法及び品質を満足し、設計図書に従って適正に設置していた。 4. ◎ <input type="checkbox"/> 基礎面が平坦に仕上げられて十分締固められていた。 5. ○ <input type="checkbox"/> 製品の組立は設計図書どおりに行われ、がたつき・緩み等がなく堅固に仕上がっていた。 6. ◎ <input type="checkbox"/> 施設の仕上がりが適切で、傷・損傷等がなかった。 7. ◎ <input type="checkbox"/> 施設の機能は、設計図書の規定・目的を満足していた。 8. ○ <input type="checkbox"/> その他(理由:)				
	<input type="checkbox"/> 5-6 建築施設組立設置工 1. ◎ <input type="checkbox"/> 工事着手前に使用材料の試験成績書・品質証明書等を提出し、材料確認を受けてから施工していた。 2. ○ <input type="checkbox"/> 製品納入前に使用材料承諾願いを提出し、設計図書に適合する製品であることの確認を受けてから施工していた。 3. ◎ <input type="checkbox"/> 施設は、設計図書で規定された寸法及び品質を満足し、設計図書に従って適正に設置していた。 4. ◎ <input type="checkbox"/> 基礎面が平坦に仕上げられて十分締固められていた。 5. ○ <input type="checkbox"/> 製品の組立は設計図書どおりに行われ、がたつき・緩み等がなく堅固に仕上がっていた。 6. ◎ <input type="checkbox"/> 施設の仕上がりが適切で、傷・損傷等がなかった。 7. ◎ <input type="checkbox"/> 施設の機能は、設計図書の規定・目的を満足していた。 8. ○ <input type="checkbox"/> その他(理由:)				

工 事 成 績 採 点 の 考 査 項 目

(監督員)

[記入方法]記入表の評価対象項目(○)と該当項目(□)にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

考查項目	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II. 品質 【公園】	<input type="checkbox"/> 5-7 グランド・コート整備工 1. <input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/> 工事着手前に使用材料の試験成績書・品質証明書等を提出し、材料確認を受けてから施工していた。 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられていた。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 上層路盤、下層路盤の1層仕上がり厚は、設計図書の規定以下で施工していた。 4. <input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/> 舗装材(ブロック)は、設計図書の規定どおり施工していた。 5. <input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/> 舗装材(ブロック)は、損傷等がなく、凹凸なしに張込まれていた。 6. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 植生工は、植生の種類・品質・配合が設計図書の規格を満足し、施工後の養生も適切に行われていた。 7. <input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/> 仕上がり・平坦性等の品質については、品質管理基準で規定する試験が行われ、各試験項目の規格値及び試験基準を満足していた。 8. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)				
	<input type="checkbox"/> 5-8 自然育成工 1. <input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/> 工事着手前に使用材料の試験成績書・品質証明書等を提出し、材料確認を受けてから施工していた。 2. <input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/> 設計図書をよく理解し、施工の工程・工法・品質管理等が適切に行われていた。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 施設の配置・組合せが設計図書の規定どおりに行われ、目的・機能が適切であった。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 植生工は、植生の種類・品質・配合が設計図書の規格を満足し、施工後の養生も適切に行われていた。 5. <input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/> 施設の仕上がりは、自然環境に適應し、設計図書の規定どおり行われていた。 6. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)				
	<input type="checkbox"/> 5-9 公園工事その他の工種() 1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 使用材料(部品・単体品)の品質は、工事着手前に試験成績書・品質証明書等が提出され、設計図書で規定された品質・形状等の規格を満足していた。 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 設計図書で規定する方法で、適正に施工されていた。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 設計図書で定められている品質管理が、適正に実施されていた。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)				
	<input type="checkbox"/> 5-10 公園工事その他の工種(名称:) 1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:) 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:) 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:) 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:) 5. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:) 6. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:) 7. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:) 8. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)				

工 事 成 績 採 点 の 考 査 項 目

(監督員)

[記入方法]記入表の評価対象項目(○)と該当項目(□)にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

考査項目	a	b	c	d	e	
3 出来形及び出来ばえ II. 品質 【農地】	<input type="checkbox"/> 6-1 コンクリート舗装工					
	1.	◎	□	施工前に設計図書(示方書を含む。以下同じ)の規定に基づくコンクリートの配合試験及び試験練が行われ、試験結果により適切なコンクリートの品質規格(強度・W/C・最大骨材粒径・塩化物総量規制・アル骨反応抑制対策等)であることが確認できた。		
	2.	◎	□	コンクリートの運搬、打込み(方法・時間)、締固め方法、養生等が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。(暑中及び寒中コンクリートを含む。)		
	3.	◎	□	コンクリートの露出面を養生マットで覆い、規定の養生期間、常に湿潤状態を保っていた。		
	4.	◎	□	コンクリートへの伸縮継目及び路盤紙の設置は、設計図書に規定された方法で行っていた。		
	5.	◎	□	コンクリート打設時に必要な数の供試体を採用し、スランプ・空気量試験等を適正に行っていた。		
	6.	◎	□	路盤材料の試験成績表が工事着手前に提出され、設計図書で規定した品質規格を満足していた。		
	7.	◎	□	路盤の転圧方法及び仕上がり厚が、設計図書の規定どおりに適正に施工されていた。		
	8.	○	□	型枠、支保工の取り外しは、設計図書で規定するコンクリート強度発現後に行うように管理されていた。		
	9.	○	□	その他(理由:)		
	<input type="checkbox"/> 6-2 プレキャストU型側溝敷設工					
	1.	◎	□	工事着手前に使用材料の試験成績書・品質証明書等を提出し、材料確認を受けてから施工していた。		
2.	◎	□	接合部はモルタル処理が適正に行われ、漏水等がなかった。			
3.	◎	□	使用材料には、損傷がなかった。			
4.	○	□	目地間隔が適正だった。			
5.	○	□	目地間隔が大きく開く場合は、補強していた。			
6.	○	□	その他(理由:)			
<input type="checkbox"/> 6-3 ため池土工						
1.	◎	□	掘削は、堤敷き内の腐植土、草木根等の有機物質や転石、泥土等の基礎として不適当なものほか池水の浸透を誘導する雑物が完全に除去できていた。			
2.	◎	□	床掘り及び袖掘りの深さは、監督職員の承諾を得た後施工していた。			
3.	◎	□	盛土の透水係数は、設計図書に指定した範囲又は規格値の範囲内であることが確認できた。			
4.	◎	□	粒度分布が1個所に集まってレンズ状、ポケット状、スジ状となり周囲の材料と本質的に違った組成粒度の層になっていないことが確認できた。			
5.	◎	□	まき出し厚さは、特記仕様書に示された値又は不透水性部若しくは半透水性部に対しては15cm以下で、透水性部に対しては20cm以下で施工していた。			
6.	◎	□	締固密度は、特記仕様書に規定する値又はJIS A 1210による最大乾燥密度の90%以上の値で締固めていた。			
7.	◎	□	現場締固め試験及び現場透水試験については、特記仕様書に示す方法により行われていた。			
8.	○	□	その他(理由:)			
<input type="checkbox"/> 6-4 農地工事その他の工種(名称:)						
1.	○	□	その他(理由:)			
2.	○	□	その他(理由:)			
3.	○	□	その他(理由:)			
4.	○	□	その他(理由:)			
5.	○	□	その他(理由:)			
6.	○	□	その他(理由:)			
7.	○	□	その他(理由:)			
8.	○	□	その他(理由:)			

工 事 成 績 採 点 の 考 査 項 目

(監督員)

[記入方法]記入表の評価対象項目(○)と該当項目(□)にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

考查項目	a	b	c	d	e																								
3 出来形及び出来ばえ II. 品質	土木工事【品質の評定】 (1) 【II. 品質】の評価対象項目合計 30個未満の場合 <table border="1" data-bbox="315 416 1021 568"> <tr><td>評価対象項目の90%以上に該当する場合</td><td>a</td></tr> <tr><td>評価対象項目の80%以上90%未満に該当する場合</td><td>b</td></tr> <tr><td>評価対象項目の60%以上80%未満に該当する場合</td><td>c</td></tr> <tr><td>評価対象項目の60%未満に該当する場合</td><td>d</td></tr> </table> (2) 【II. 品質】の評価対象項目合計 30個以上40個未満の場合 <table border="1" data-bbox="315 663 1021 815"> <tr><td>評価対象項目の90%以上に該当する場合</td><td>a</td></tr> <tr><td>評価対象項目の75%以上90%未満に該当する場合</td><td>b</td></tr> <tr><td>評価対象項目の60%以上75%未満に該当する場合</td><td>c</td></tr> <tr><td>評価対象項目の60%未満に該当する場合</td><td>d</td></tr> </table> (3) 【II. 品質】の評価対象項目合計 40個以上の場合 <table border="1" data-bbox="315 911 1021 1062"> <tr><td>評価対象項目の90%以上に該当する場合</td><td>a</td></tr> <tr><td>評価対象項目の70%以上90%未満に該当する場合</td><td>b</td></tr> <tr><td>評価対象項目の55%以上70%未満に該当する場合</td><td>c</td></tr> <tr><td>評価対象項目の55%未満に該当する場合</td><td>d</td></tr> </table> ※ 評価対象項目が2項目以下の場合、C評価とする。			評価対象項目の90%以上に該当する場合	a	評価対象項目の80%以上90%未満に該当する場合	b	評価対象項目の60%以上80%未満に該当する場合	c	評価対象項目の60%未満に該当する場合	d	評価対象項目の90%以上に該当する場合	a	評価対象項目の75%以上90%未満に該当する場合	b	評価対象項目の60%以上75%未満に該当する場合	c	評価対象項目の60%未満に該当する場合	d	評価対象項目の90%以上に該当する場合	a	評価対象項目の70%以上90%未満に該当する場合	b	評価対象項目の55%以上70%未満に該当する場合	c	評価対象項目の55%未満に該当する場合	d	① <input type="checkbox"/> 監督職員から文書による改善指示があった場合 上記項目に該当・・・d	② <input type="checkbox"/> 契約書第17条第2項に基づく破壊検査を行った。 上記項目に該当・・・e
評価対象項目の90%以上に該当する場合	a																												
評価対象項目の80%以上90%未満に該当する場合	b																												
評価対象項目の60%以上80%未満に該当する場合	c																												
評価対象項目の60%未満に該当する場合	d																												
評価対象項目の90%以上に該当する場合	a																												
評価対象項目の75%以上90%未満に該当する場合	b																												
評価対象項目の60%以上75%未満に該当する場合	c																												
評価対象項目の60%未満に該当する場合	d																												
評価対象項目の90%以上に該当する場合	a																												
評価対象項目の70%以上90%未満に該当する場合	b																												
評価対象項目の55%以上70%未満に該当する場合	c																												
評価対象項目の55%未満に該当する場合	d																												

工事成績採点の審査項目

(監督員)

[記入方法]記入表の該当する項目の□にレマークを、備考欄に事例の①等の数値を記入する。

審査項目	細別	技術力キーワード一覧表	【事例】 具体的な評価技術力項目及び工事事例
4 技術力	I 技術力 キーワード評価	<p>■ 施工規模の大きさへの対応</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 対象構造物の高さ、延長、施工（断面積、施工深度等の規模</p> <p><input type="checkbox"/> 2. その他 (理由:)</p> <p>■ 構造物固有の難しさへの対応</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 対象構造物の形状の複雑さ（土盛り厚やトンネル線形等を含む）</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 既設構造物の補強、撤去等特殊な工事</p> <p><input type="checkbox"/> 5. その他（理由:)</p> <p>■ 技術固有の難しさへの対応</p> <p><input type="checkbox"/> 6. 工種及び工法の特異性</p> <p><input type="checkbox"/> 7. 新工法（機器類を含む。）及び新材料の適用</p> <p><input type="checkbox"/> 8. その他（理由:)</p> <p>■ 厳しい自然条件・地盤条件への対応</p> <p><input type="checkbox"/> 9. 湧水の発生、地下水の影響（地盤掘削時）</p> <p><input type="checkbox"/> 10. 軟弱地盤、支持地盤の状況</p> <p><input type="checkbox"/> 11. 河川内・海域・急峻な地盤条件下等及び工事用道路・作業スペース等の制約</p> <p><input type="checkbox"/> 12. 雨・雪・風・気温・波浪等の影響</p> <p><input type="checkbox"/> 13. 地滑り等の地質条件、急流河川での水流、海域での潮流等の影響、動植物等に対する配慮等</p> <p><input type="checkbox"/> 14. その他 (理由:)</p>	<p>【施工規模が大規模】下記の該当する項目が、技術力で評価できる場合</p> <p>① 切土・盛土工 15万ρ<V ② 護岸・築堤工 10m<H ③ トンネル(シールド) 10m<ϕ ④ ダム用水門<設計水深25m ⑤ 樋門・樋管 15m^2<A ⑥ 揚排水機場 2000mm<ϕ ⑦ 堰・水門の最大径間長25m以上又は径間数3径間以上又は50m^2/門 ⑧ トンネル(開削工) 20m<H ⑨ トンネル(NATM)内空断面積 85m^2<A ⑩ トンネル(沈埋工法) 300m^2<A ⑪ 海岸堤防、護岸、突堤、離岸堤の水深10m<⑫ 地すべり防止工 100m<W又は150m<L ⑬ 浚渫工 100万ρ<V ⑭ 流路工 500ρ<Q ⑮ 砂防ダム 30m<H ⑯ ダム高 150m<H ⑰ 転流トンネル 400m^2/s<Q ⑱ 橋梁下部工 30m<H ⑲ 橋梁上部工 最大支間長 100m<L</p> <p>【事例：構造物固有な施工難度と対応工法等】</p> <p>① 地山強度が低い。また土盛りが薄いため、FEM（有限要素法）解析等の施工のための検討が必要な工事 ② 砂防工事等で現地調査に基づき、現地合わせの再設計と施工が必要な工事 ③ 鉄道営業線に隣接した橋却の耐震補強工事や河道内の流水部における橋却撤去工事 ④ 供用中の道路トンネルの活線拡幅工事等</p> <p>① 施工場所や構造物の特異性に対処するための新技術、新工法を採用した工事 ② パイロット工事、又は特異な試験フィールド工事で、特許工法等の技術的な検討が必要な工事 ③ コンピューターシミュレーション等が必要な設計や特殊な工法及び材料等を用いた工事等 ④ VE（バリエーション・エンジニアリング）提案された工法等が高度技術として評価できる場合 ⑤ 構造物固有の難しさ、技術固有の難しさへの対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事</p> <p>【事例：自然及び地盤条件への対応工事等】</p> <p>① 河川内の橋却工事等で、地下水位が高く、ウェルポイント等の排水設備のほか、大規模な山留め工法が必要な工事 ② 支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎の1本ごとに地質調査を実施するほか、支持地盤を確認しながら再設計した工事 ③ 軟弱地盤上の緩速盛土のため、施工不可能日(待ち時間)が多く、施工機械の稼働率と施工台数等を的確に把握した工事 ④ 急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事、又は命綱を使用する必要があった工事(法面工は除く。) ⑤ 斜面上若しくは急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策施工後に施工した工事 ⑥ 海岸及び河川内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事 ⑦ 波浪や水位変動が大きいため、作業構台等を設置した工事。また、作業構台等の設置や作業工程から潜水夫を多用した工事 ⑧ 国立公園内での工事又はイヌワシ等の貴重種の保護のため、施工時期が限定されたり施工方法等が制限された工事 ⑨ 冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事 ⑩ その他自然条件又は地盤条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事</p>

工事成績採点の考査項目

(監督員)

[記入方法]記入表の該当する項目の□にレマークを、備考欄に事例の①等の数値を記入する。

考査項目	細 別	技術力キーワード一覧表	【事例】 具体的な評価技術力項目及び工事例
4 技術力 (続き)	I 技術力 キーワード評価	<p>■ 厳しい周辺環境等、社会条件への対応</p> <p><input type="checkbox"/> 15. 地中埋設物等の地中内の作業障害物</p> <p><input type="checkbox"/> 16. 工事の影響に配慮すべき鉄道営業線・供用中の道路・架空線・建築物等の近接物</p> <p><input type="checkbox"/> 17. 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮</p> <p><input type="checkbox"/> 18. 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮</p> <p><input type="checkbox"/> 19. 生活道路を利用するの資機材搬入等の工事用道路の制約、路面覆工下・高架下等の作業スペースの制約</p> <p><input type="checkbox"/> 20. 現道上で、特に交通規制及びその処理が伴う作業</p> <p><input type="checkbox"/> 21. 騒音・振動・水質汚濁以外の環境対策、廃棄物処理等</p> <p><input type="checkbox"/> 22. その他 (理由:)</p> <p>■ 施工現場での対応</p> <p><input type="checkbox"/> 23. 災害等での臨機の措置</p> <p><input type="checkbox"/> 24. 施工状況(条件)変化に対応した施工・工法等の自発的提案と対応等</p> <p><input type="checkbox"/> 25. その他 (理由:)</p> <p>■ その他</p> <p><input type="checkbox"/> 26. その他施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評定する必要がある事項 (理由:)</p>	<p>【事例：周辺環境や社会条件等の施工現場での対応が必要になった工事等】</p> <p>① 横断函渠工事や電線地中化工事等の現道開削工事で、ガス管・水道管・電話線等の移設が施工工程に大きく影響した工事</p> <p>② 鉄道営業線及び供用中道路を跨ぐ跨線橋又は跨道橋工事</p> <p>③ 市街地等の家屋密集地での鉄道又は道路をアンダーパスする跨線橋又は跨道橋工事</p> <p>④ 市街地での夜間工事</p> <p>⑤ D I D地区での工事</p> <p>⑥ 供用中の道路(概ね日交通量1万台以上)で、片側交互通行の交通規制をした工事</p> <p>⑦ 供用中の道路での舗装及び修繕工事等</p> <p>⑧ 供用している自動車専用道等の路上工事で交通規制が必要な工事</p> <p>⑨ 支障物件の移設が工程上クリティカルパスになり、工程の遅れを生じ、回復に機械・人員等の増強を行った工事</p> <p>⑩ 工事期間中の大半にわたって、規制標識類の設置・撤去を日々行ない、交通開放を行った工事</p> <p>⑪ 地元調整や環境対策の制約が特に多い工事</p> <p>⑫ 工事の実施にあたり、各種の制約があり、工程的にも特に厳しく施工の制限を受けた工事</p> <p>⑬ 工事に先立ち、又は施工中で、監視・観測等の結果に基づき工法変更を行った工事</p> <p>⑭ 環境対策が工程に大きな影響を与えた工事</p> <p>⑮ 施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事</p> <p>⑯ 大気圧を越える気圧下の作業室での工事</p> <p>⑰ 酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事。地上・水面から10m以上の工事</p> <p>⑱ 工程上、他工事の制約を受け、機械・人員の増強を行った工事</p> <p>⑲ その他周辺環境又は社会条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事</p> <p>【その他】</p> <p>① その他施工及び工法等の優れた技術力及び能力として評価する技術</p>
	記述評価 【レマークを付したキーワード項目について、評価内容を詳細記述】	<p>評 点: _____ 点</p> <p>※ ・技術力は、加點評価とする。 ・加點は+10点~0点の範囲とする。 ・該当キーワードの数と重みを勘案して評点する。 ・1項目2点を目安とする。 ・技術力は、受注者から提案があった場合に評価を行うものとする。</p>	<p>【技術力のキーワードの詳細評価】</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>

※ 1. 技術力とは、工事全体を通して他の類似工事に比べて特異な技術力を要する必要がある場合又は他の模範となる場合に評価するものとする。
 ※ 2. 詳細評価の記述にあたっては、主任監督員及び総括監督員との合議をもって記載する。なお、各考査項目はキーワードで大分類して評定し、技術力の詳細を記述する。
 ※ 3. 技術力は[実用新案・特許クラス]から[現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが、非常に役立つ軽微な工夫]まで様々なレベルがあり、本項目では、「5. 創意工夫」で評価しなかったものを対象とする。

工事成績採点の考査項目

(監督員)

[記入方法] 記入表の該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細 別	1. 創意工夫キーワード一覧表 (創意工夫が多く見られるリスト)	施工性	品 質	安全性	作業環境	その他 (項目記載)
5 創意工夫 【軽微なもの】	I 創意工夫 キーワード評価	■ 準備・後片付関係					
		<input type="checkbox"/> 1. 測量・位置出しにおける工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/> ()
		<input type="checkbox"/> 2. その他 (理由:)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()
		■ 施工関係					
		<input type="checkbox"/> 3. 施工に伴う器具・工具・装置類の工夫又は設備据付後の試運転調整の工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()
		<input type="checkbox"/> 4. コンクリート二次製品の利用等の代替材の適用と工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()
		<input type="checkbox"/> 5. 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工関係の工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()
		<input type="checkbox"/> 6. 部材・機材等の運搬・吊り方式等を含む施工方法等の工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()
		<input type="checkbox"/> 7. 設備工事で加工・組立等の工夫又は電気工事等の配線、配管等での工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()
		<input type="checkbox"/> 8. 給排水、衛生設備工事等の配管・ポンプ類の凍結防止策、つなぎ等の工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()
		<input type="checkbox"/> 9. 照明・視界確保等の工夫	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()
		<input type="checkbox"/> 10. 運搬車両・施工機械等の工夫	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()
		<input type="checkbox"/> 11. 支保工、型枠工、足場工及び仮架橋、覆工板、山留め等の仮設工関係の工夫	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()
		<input type="checkbox"/> 12. 施工管理及び品質向上等の工夫		<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/> ()
		<input type="checkbox"/> 13. その他 (理由:)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()
		■ 品質関係					
		<input type="checkbox"/> 14. 集計ソフト等の活用と工夫		<input type="checkbox"/>			
		<input type="checkbox"/> 15. 土工関係、設備関係、電気関係の工夫		<input type="checkbox"/>			
		<input type="checkbox"/> 16. コンクリートの打設関係の工夫 (材料、打設、養生、出来形・品質等)		<input type="checkbox"/>			
		<input type="checkbox"/> 17. 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料の工夫		<input type="checkbox"/>			
		<input type="checkbox"/> 18. 配筋・溶接作業等に関する工夫		<input type="checkbox"/>			
		<input type="checkbox"/> 19. その他 (理由:)		<input type="checkbox"/>			
		■ 安全衛生関係					
		<input type="checkbox"/> 20. 安全仮設備等の工夫 (落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺、足場等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()
		<input type="checkbox"/> 21. 安全教育、技術向上講習会等、安全パトロール、安全帯使用等に関する工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()
		<input type="checkbox"/> 22. 現場事務所、労務者宿舎等の居住空間及び設備等の工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()
		<input type="checkbox"/> 23. 有毒ガス・可燃ガスの処理及び粉塵防止策や作業中の換気等の工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()
<input type="checkbox"/> 24. 供用中の道路等の事故防止及び一般交通確保等のための工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()		
<input type="checkbox"/> 25. 作業環境が厳しい現場での環境改善等の工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()		
<input type="checkbox"/> 26. ごみの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()		
<input type="checkbox"/> 27. その他 (理由:)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()		

工事成績採点の考査項目

(監督員)

[記入方法] 記入表の該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細 別	1. 創意工夫キーワード一覧表 (創意工夫が多く見られるリスト)	施工性	品 質	安全性	作業環境	その他 (項目記載)
	キーワード評価 (つづき)	■ 施工管理関係					
		<input type="checkbox"/> 28. 盛土の締固め、場所打杭や既製杭の施工高さ等の施工に関する工夫		<input type="checkbox"/>			
		<input type="checkbox"/> 29. 施工計画書及び写真管理等の工夫		<input type="checkbox"/>			
		<input type="checkbox"/> 30. 出来形、品質との計測関係等の工夫及び集計、管理図等の工夫		<input type="checkbox"/>			
		<input type="checkbox"/> 31. CAD、施工管理ソフト、土量管理システム等の活用		<input type="checkbox"/>			
		<input type="checkbox"/> 32. その他 (理由		<input type="checkbox"/>			
		■ その他					
		<input type="checkbox"/> 33. その他 (理由:)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()
		<input type="checkbox"/> 34. その他 (理由:)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()
		<input type="checkbox"/> 35. その他 (理由:)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()
記述評価	評 点: _____ 点	【創意工夫の詳細評価】					
【レマークを付したキーワード項目について、評価内容を詳細記述】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に評価すべき創意工夫例を加点評価する。 ・ 加点は+5点～0点の範囲とする。 ・ 該当キーワード数の数と重みを勘案して評点する。 ・ 1項目1点を目安とする。 ・ 創意工夫は、受注者から提案があった場合に評価を行うものとする。 						

※ 1. 創意工夫においては、[5. 技術力]の考査項目において評価するほどでないが、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき便益があれば加点・抽出記載する。

※ 2. [2. 施工状況][3. 出来形及び出来映え]においても創意工夫は加点対象とするが、企業努力を引き立たせるため、本考査項目でも再評価する。

※ 3. 創意工夫は、「実用新案・特許クラス」から[現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが、非常に役立つ軽微な工夫]まで様々なレベルがあり、本項目では、「4. 技術力」で評価しなかった軽微なものを評価する。

※ 4. キーワードの評価 (選定) 及び詳細評価は、主任監督員及び総括監督員との合議をもって記述する。

工事成績採点の考査項目

(監督員)

[記入方法] 記入表の該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細 別	1. 市産品キーワード一覧表					
5 創意工夫 【軽微なもの】	II 市産品 キーワード評価	<input checked="" type="checkbox"/> 市産品の活用					
		<input type="checkbox"/> 1. 市産品を3品目以上5品目以下使用 <input type="checkbox"/> 2. 市産品を6品目以上使用					
	記述評価	評 点： _____ 点 ・ 市産品とは、和歌山市市産品登録制度実施要綱に基づく和歌山市市産品登録制度に登録されているものをいう。 ・ 市産品は加点評価とする。 ・ 加点は+5点～0点の範囲とする。 ・ 創意工夫は、受注者から提案があった場合に評価を行うものとする。	【市産品の詳細評価】				
5 創意工夫 【軽微なもの】	III 材料調達 キーワード評価	<input checked="" type="checkbox"/> 市内業者からの材料調達					
		<input type="checkbox"/> 1. 市内業者からの材料調達率80%以上					
	記述評価	評 点： _____ 点 ・ 市内調達率が高い場合加点評価とする。 ・ 加点は+2.5点～0点の範囲とする。 ・ 受注者から提出のある工事材料承諾額を確認し、【市内業者から材料を調達した業者数】／【材料を調達したすべての業者数】で市内業者からの材料調達率を算出し、評価を行うものとする。	【材料調達の詳細評価】				